

日 程

演題時間 A演説(学術研究賞):30分,討論10分 B演説:10分,討論10分

予定時間	第1日 11月19日(木)	座長
8:45	開会の辞	
8:50	A-1 コレステロールによるマクロファージの機能制御:ACAT1陽性特異オルガネラの同定から細胞内コレステロール代謝制御、ファゴソーム機能障害、C型ニーマンピック病治療戦略まで 坂下 直実(熊本大学大学院医学薬学研究部細胞病理学分野)	上田 真喜子(大阪市立大学)
9:30	A-2 モデル動物の解析による自己免疫疾患発症機序の多面的理解 石津 明洋(北海道大学大学院保健科学研究院病態解析学分野)	江石 義信(東京医科歯科大学)
10:10	休憩	
10:15	A-3 胸腺移植併用による次世代の骨髄移植法の開発 - T細胞の分化増殖・制御に向けて - 保坂 直樹(関西医科大学第一病理学教室)	笠原 正典(北海道大学)
10:55	A-4 SAGE法で同定したReg の各種がんにおける分子病理学的意義 大上 直秀(広島大学大学院医歯薬学総合研究科分子病理学研究室)	堀井 明(東北大学)
11:35	休憩	
11:40	特別講演-1 我国の災害医療と国際医療の貢献 緒方 克彦(防衛医科大学校幹事)	玉井 誠一(防衛医科大学校)
12:10	昼食(ランチョンセミナー) プリストル・マイヤーズ(株)共催 抗EGFR抗体による大腸がん治療の State of the art 1. 大腸癌個別化治療と病理診断 落合 淳志(国立がんセンター東病院臨床開発センター臨床腫瘍病理部) 2. 臨床病理検体を用いたファーマコゲノミクスの実践 土原 一哉(国立がんセンター東病院臨床開発センターがん治療開発部微小環境標的療法室)	味岡 洋一(新潟大学)
13:10	総会	
14:10	A-5 インフラマソームの機能から考える炎症疾患発症の分子基盤 増本 純也(信州大学医学部病理組織学講座)	能勢 真人(愛媛大学)
14:50	休憩	
15:00	シンポジウム - 1 予後,原因,および特定の遺伝子変化と関連した,癌の特徴的組織像 S1-1 遺伝子変異と関連した肺腺癌の前癌病変,異型腺腫様過形成の生物学的相違 谷田部 恭(愛知県がんセンター中央病院遺伝子病理診断部) S1-2 ALK融合遺伝子陽性腫瘍の病理学的スペクトラム 竹内 賢吾(癌研究会癌研究所病理部) S1-3 Her2/neu遺伝子増幅を認める乳癌の形態的特徴 岩屋 啓一(防衛医科大学校病態病理学) S1-4 胃分化型早期癌の粘液形質に基づいた分子異常と形態との関連性 菅井 有(岩手医科大学中央臨床検査部臨床病理部門) S1-5 マイクロサテライト不安定性を示す大腸癌の臨床病理学的特徴 新井 富生(東京都健康長寿医療センター病理診断科)	石川 雄一(癌研究所) 岩下 明德(福岡大学)
17:00	International Poster Session Poster Hour with Cheese & Wine	

一 覧

演題時間 A演説(学術研究賞):30分, 討論10分 B演説:10分, 討論10分

第2日 11月20日(金)		座長
8:30	要望講演 Secrets From a Journal Editorial Office Catherine M Ketcham, PhD (Managing Editor, Laboratory Investigation)	梅澤 明弘(国立成育医療センター)
9:00	B-1 乳腺の神経内分泌型非浸潤性乳管癌(Neuroendocrine ductal carcinoma in situ (NE-DCIS) of the breast) 川崎 朋範(山梨大学医学部人体病理学講座)、坂元 吾偉(坂元記念クリニック 乳腺病理アカデミー)、加藤 良平(山梨大学医学部人体病理学講座)	森谷 卓也(川崎医科大学)
9:20	B-2 Lymphomatoid Gastropathy:本邦発の新しいNK細胞増殖症 竹内 賢吾(癌研究会癌研究所病理部)	中村 栄男(名古屋大学)
9:40	休憩	
9:45	A-6 細胞老化に着目した肝胆道系疾患の発生・進展機構の解明 佐々木素子(金沢大学医学研究科形態機能病理学)	矢野 博久(久留米大学)
10:25	A-7 疾患モデルの確立によるヒトがんの生体内での分子病理学的研究 山田 健人(慶應義塾大学医学部病理学教室)	宮園 浩平(東京大学)
11:05	休憩	
11:10	特別講演 - 2 Diagnosis of Medical Lung Disease Using a Low Power Approach E. J. Mark, M.D. (Harvard Medical School and Mass. General Hospital)	中谷 行雄(千葉大学)
12:10	昼食(ランチョンセミナー) 大鵬薬品工業(株)共催 正しい病理診断からはじまる乳癌薬物治療の現状 渡辺 亨(浜松オンコロジーセンター)	坂元 吾偉(坂元記念クリニック)
13:10	シンポジウム - 2 社会における病理医 -病理診断の標準化、精度向上にむけて- S2-1 病理部門における外部精度管理 水口 國雄(帝京大学溝口病院臨床病理科) S2-2 病理診断の標準化を目指して 前立腺病理の場合 白石 泰三(三重大学医学部附属病院病理部) S2-3 乳癌治療効果予測因子検索の精度管理 到達点と今後の課題 梅村 しのぶ(東海大学医学部基盤診療学系病理診断学領域) S2-4 病理診断コンサルテーション支援と病理画像レファレンシャルデータベース(RDB)構築 国立がんセンター病理関連部門の取り組み 長谷部 孝裕(国立がんセンター中央病院がん対策情報センター)	津田 均(国立がんセンター) 松野 吉宏(北海道大学)
14:50	休憩	
15:00	病理診断シリーズ 37 膵嚢胞性病変の病理 諸星 利男(昭和大学医学部第一病理)	柳沢 昭夫(京都府立医科大学)
16:00	病理診断シリーズ 38 甲状腺濾胞性腫瘍の診断と限界 廣川 満良(隈病院病理細胞診断部)	加藤 良平(山梨大学)
17:00	閉会の辞	